

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農業振興資金融資及び利子補給事業			会計	款	項目	大事	小事
政 策	05	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課			
施 策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安 蒜 康 志			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内農業者	意図	本市における農業者の農業経営の安定及び農業振興を図る。
事業内容	本市において農業を自ら営む者に対し、融資機関を通じて農業振興資金の融資を行い、及びこれに対する利子の一部を補給する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度新規事業であり、平成28年度の利用実績は5件、平成29年度は2件増加した。（合計7件）			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		利用実績件数		5	2	件	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						平成28年度の利用実績は5件、平成29年度は2件で、当該資金による購入資材は、米光選別機、穀物用乾燥機、草刈機、ビニールハウス、ネギ皮むき機である。
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)			6,436,113	6,510,142			
事業費（b）（円）			5,063,113	5,167,742			
うち一般財源			63,113	167,742			
職員給与費(c)(円)			1,373,000	1,342,400			
人役・職員(人)			0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継 続 （事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・JAと協力し周知を図る。 ・農家回覧で周知を図る。
今年度(H29)に実施した取組	市内農業者に対して各団体の会合等で説明を行った。

取組の課題	市内農業者への周知。
今後(H30以降)の改善計画	引き続き、市内農業者に対して理解を図る。